

和の光

宝塚市立西谷中学校



高く登れば視界が広がる
～登山を通して感じたこと～

校長 筒井 啓介



上高地 梓川から穂高を望む（2024.08.10撮影）

夏休みも後半に入りました。今年の夏は例年以上の暑さが連日のように続き、まさに災害級と言える感じがします。私事ですが、先週末、私用で岐阜県・長野県に出かけました。久しぶりに上高地に立ち寄り、少しの時間、河童橋周辺の散策をしてきました。私は趣味で登山をするので、北アルプスの山々をもう30年以上登り続けています。3000m級の山々に登るのですが、20kgほどの荷物を背負って一步一步自分の足で歩いていきます。「なぜ、そんなにしんどい思いをして山に登るのか」とよく聞かれることがあります。その度に、どう答えるのか迷いますが、一言で言えば「高く登れば今まで見えなかったものが見える」からです。今、日本の山々に観光客やスキー客を呼ぶために、ロープウェイやケーブルカーが整備されています。中には、車で手軽に山頂付近までアクセス可能な山があります。登山をしなくても山頂から綺麗な景色を眺めることは手軽にできるようになりました。

あえて、そのような中、しんどい思いをしてまで、登山をするのかを綴ってみましたので、読んでいただけると嬉しいです。

登山をするためには、まず準備が必要になります。（定期テストや受験のために計画を立てて臨むのと同じことだと思います。）まず、いつ・どこの山に登るのかを考えます。その次に山岳地図を使って登山ルートを決めます。この時に、急な天候の変化に備えて、非常時にはどのルートで避難するのも考えておく必要があります。（山の天候は刻々と変化し、一歩間違えると命を失う危険性があるからです。）ここまでの計画が立てば、次に登山用具・水・食料・調理器具・テント・衣類など必要な装備を準備します。あれもこれもと考えると荷物の重さが増えていきます。一日に8時間程度は歩くことになるので、必要最小限かつ非常時にも対応できる分量にしなければなりません。（これも、定期テストや受験対策と同じで、限られた時間に要領よく学習をすることと同じだと思います）

必要な装備が揃えばいよいよ登山を開始します。山の天気は午後に変ることが多いので、早朝5時頃から歩き始めて2時頃までには目的地に着くようにします。（これも、定期テストや受験と同じで早めの計画と行動が大切なことだと思います。）登山口から歩き始めると最初は木々の生い茂ることのできる森林を歩きますが、森林限界（2000m位）を過ぎると、そこから先は一機に視界が開けます。今までとは異なり、周囲は岩山に変わり、木々は低木（ハイマツなど）と砂礫の合間に高山植物が可憐に咲き誇っています。標高が高い所では、風雨に耐えしのぐために木々は高さを低くし、少ない水分でもうまく取り込んでいけるように、周囲の環境に適応することで、その命を繋いでいるのです。（社会に出て、様々な人々と生きていくためには、周囲の環境に適応する力も必要になりますが、これと同じことだと思います。）

ようやく、目標とする山頂に到達すると、そこからは遥か遠くの山並みを見渡すことができます。また、夕方には沈みゆく夕日と共に変わる山の景色や綺麗な夜景を眼下に望むこともできます。この時に、登るまでの苦労が一気に吹き飛び、頑張って登った甲斐があったと思えるのです。そして、その達成感他ものには代え難いものがあります。こうして、気が付けば次の登頂目標に向けて新たな計画を立てる自分がいます。

少し大袈裟かも知れないですが、私は苦勞をして登山をすることは、人生の困難を一つ一つ乗り越えていくことと繋がりががあると思います。一つの山に登頂することで、自分自身が一步成長できる気がするのです。みなさんはどのように感じましたでしょうか。何かの参考になれば嬉しいです。



燕岳山頂にて撮影（2016.08.13）



剣沢にて撮影（2013.08.16）

■生徒会交流会に参加しました（8月1日（木））

宝塚市内の公立中学校12校の生徒会が交流会を行いました。西谷中の生徒会からも生徒会執行部のAさん（生徒会長）、Bさん（健康委員長）、Cさん（学芸委員長）の3名が参加し、西谷中の生徒会活動の取組みについて発表しました。この貴重な機会を基にさらに西谷中の生徒会活動が活性化することを期待しています。Aさん・Bさん・Cさん貴重な発表を有難う！！

【執行部の取組みの課題と工夫について】発表者：Aさん

西谷中学校のAです。よろしくお願いします。西谷中学校の執行部の取組みの中での課題と工夫について発表していきます。

今回執行部の取組みとして、「執行部 Teams のチャンネルを有効活用」と「意見箱の設置」について課題と工夫について考えました。執行部 Teams のグループチャンネルを有効活用していることの利点は執行部のメンバーや先生方との情報共有や記録がスムーズになり共同作業の効率が良くなることです。加えて頻繁に執行部会を開く必要がないことも利点です。**意見箱設置の利点は生徒の意見や学校について思っていることなどを紙に書いて伝えることができることがあげられます。また、内容は自由で匿名でも構わないため、生徒が意見を出しやすいことも特徴の一つです。**ここからは2つあげた西谷中学校の執行部の取組みについて、課題点と工夫を発表します。

1つ目は、Teams チャンネルの有効活用についてです。このようにして（パワポを指さす）執行部のメンバーと先生が入ったグループの中で意見を出し合ったり今後の予定などを話し合ったりしています。ここでの課題点はチャンネルのやり取りに時間がかかってしまうこと、まとまりきらない意見の交流は難しいことです。この課題点の改善方法としてチャンネルでの情報伝達と部会の意見交流それぞれの目的に応じて、より適した方法で執行部を運営する方法が良いと考えます。チャンネル上でのやり取りの方がスムーズな議題、人と人が会話して進めていくべき議題を判断し、適切な方法を行うことを執行部の今後の目標としていきます。

2つ目は、意見箱の設置についてです。生徒がこのような紙に意見を書いて（パワポを指さす）このようなボックスに投函します。ここでの課題点は、現状意見が集まりにくいところです。西谷中学校で始まったばかりの執行部の取組みであり、生徒の中で意見箱の存在感が薄いところと活用方法がしっかりと伝わっていないところが原因でもあります。**この課題点の改善方法として、私たち執行部が定期的に宣伝をして、より多くの生徒に意見箱の存在と活用について知ってもらうことだと考えます。**

このように西谷中学校の執行部は「執行部 Teams のチャンネルを有効活用」と「意見箱の設置」を行っています。そんな**西谷中学校のスローガンは「それぞれが活躍できる学校に」です。今後も生徒一人ひとりの意見が届く学校づくりのため私たちは執行部活動を行っています。**西谷中学校の執行部の取組みの中での課題と工夫について発表は以上です。ありがとうございました。

【校則について】発表者：Bさん

西谷中学校のBです。よろしくお願いします。校則について発表します。

まず初めに髪についてです。目・襟にかからない。かかる場合は束ねる。ゴム・ヘアピンの色は黒、紺、茶、のみ使用しても良い。パーマ、カール、毛染め、脱色、整髪料の使用は禁止。

次に服装についてです。制服は学校で定められたもの、または学校の許可を得たものを着用。冬服、夏服の期間は設けられているが、個人の体調に合わせて選び、式典等ではそろえる。くつは運動に適したものを使用するが、色は問いません。マジックテープも可とするがハイカットタイプのは不可。上履きは学校指定のものとする。靴下は、白または黒のものを着用し、ワンポイントも可。防寒具は登下校中や校内では、セーター姿、カーディガン姿での活動も可とするが、式典などでは制服の上着を必ず着用すること。

次に登下校についてです。8時30分までに教室にはいること。それ以降は遅刻とする。完全下校時刻は4月から9月は18時、10月・3月は17時30分、11月から2月は17時までに校門を出る。冬場、17時以降は必ず安全タスキをかける。

次に自転車通学およびバス通学についてです。本校においては、徒歩通学を原則とするが、遠距離の生徒に対しては、調査の上、自転車通学およびバス通学も可。希望者は許可申請書に必要事項を記入の上、学校へ提出する。自転車は自転車置き場に置き、必ず鍵をかけておく。変形ハンドルは認めない。マウンテンバイクも認めない。整備を完全に行う。防犯登録を行う。不必要な飾りつけはしない。自転車に乗るときは、ヘルメットを必ず着用し、あごひもをしっかり締める。ヘルメットにも不必要な飾りはしない。雨の場合はカッパを使用し、傘を使用しない。交通ルールを必ず守る。道路の左端または決められたところを一列で通行する。こども園の前を通過する際は、必ず徐行または自転車から降りて押して通過する。

以上で発表を終わります。ありがとうございました。

【いじめ対策について】発表者：Cさん

西谷中学校のCです。よろしくお願いします。早速ですが、西谷中学校内でのいじめの対策について発表していきます。私たち西谷中生は、目標とする生徒像が3つあります。

①目標に向かって一生懸命取り組む西谷中生『考える生徒』

②ふるさとを愛し、自他尊心を身に付けた西谷中生『支え合う生徒』

③課題にであった時、自ら解決策を考える西谷中生『やりぬく生徒』

このような目標のもと、いじめ防止に向けても意識して学校生活を送っています。

本校では、生徒一人ひとりが人権・権利を守る取り組みであるという認識のもと「人権尊重の精神と園小中～心のつながりの基盤として」をスローガンにしています。また、確かな学力を身につけ、豊かな心を持ち、たくましく生きることを教育目標とし、いじめ撲滅に向けて日々生活をしています。

そこで、現在の取り組みとしては宝塚市の生徒会でかかげた「ストップ・ザ・いじめ」「いじめ撲滅宣言」のポスターを作成し掲示したり、各学年で道徳科の授業を通して、いじめについて話し合いを行ったりしています。その成果があり本校のSNSトラブルは減少しました。

また地域では月1回挨拶運動を行っています。西谷地域の皆さん、西谷幼稚園・小学校・中学校の教職員、私たち生徒会執行部が校門前のバス停周辺に立ち、登校してくる小・中学生や園児に挨拶をします。その活動の理由としては、**挨拶は相手の存在を認めてくれることを積極的に伝える手段であり、人間関係を築く上では最高のコミュニケーション・ツールだからです。そして、相手の表情を見ることで、心や体の調子を理解し、早めにいじめ発覚や防止につながると考えています。**これらの活動を通して今、私たちができるいじめ防止策を大切に、学校生活を送っています。

